



「デジタル形式での学術文献の長期的な保存は、学術図書館の使命として大変重要です。責任ある研究方法を確保するために、あらゆる分野の研究者が図書館を頼りにして、学術的な記録を保管しています。CLOCKSS アーカイブは、今後の学術研究のために、デジタル化された研究が確実に保存されるよう、図書館が出版社との共同作業や相互協力をを行うユニークなコミュニティです。」

- Richard Ovenden、
オックスフォード大学
ボドリアン図書館員

世界をリードする図書館・出版社による保存のための連携

2006 年以降、学術出版社と研究図書館が協力して、ウェブベースの学術的なコンテンツの長期的な存続を確保するためのグローバルなダーク・アーカイブを提供しています。

現在、CLOCKSS (Controlled Lots of Copies Keep Stuff Safe) は、300 の図書館の支援と 491 の出版社の参加からなり、世界中の主要な学術機関で 12 のアーカイブ・ノードを運用しています。全体として 5,100 万件を超えるジャーナル論文、40 万 冊の書籍、そして増え続ける補足資料やメタデータ情報のコレクションの信頼できる版を保存しています。

CLOCKSS に参加する意義

コミュニティとして、コミュニティのために - CLOCKSS はステークホルダーによってステークホルダーのために運営されています。本組織の理事会は、同数の図書館員と出版社のメンバーからなり、ポリシー、手続き、優先事項、およびいつコンテンツをトリガーするかについて、共同で意思決定を行っています。

CLOCKSS はトリガーされた全てのデジタル・コンテンツにクリエイティブ・コモンズ・ライセンスを付与する唯一のダーク・アーカイブであり、放棄された、あるいは孤立化した出版物の恒久的なオープンアクセスを可能にすることによって、グローバルな学術コミュニティに大きな利益をもたらしています。その結果、リカバリされたコンテンツは、インターネットアクセスを持つすべての人が永久に利用できるようになります。

時の試練に耐えるために - CLOCKSS (Controlled LOCKSS) は、スタンフォード大学の図書館員が 1999 年に開始したユニークなアーカイブ手法 (Lots of Copies Keep Stuff Safe) を採用しています。デジタル・コンテンツは、「トリガー」イベントが発生しない限り、ユーザーからアクセスされずに CLOCKSS アーカイブに保存されます。これまでに 66 件のタイトルがトリガーされ、オープンアクセスによって利用可能になりました。

LOCKSS 技術は、保存されたデータの妥当性を定期的にチェックし、長期間保存をしています。

CLOCKSS のセキュアで堅牢な、かつ分散化されたインフラは、技術的、経済的、環境的、政治的な障害からの脅威に耐えることができます。あるノードで破壊的な事象が発生したとしても、保存されたデジタル・コンテンツの存続を危険にさらすことはありません。なぜなら、他の 11 のノードが、破壊されたノードのアーカイブをバックアップし、修復するためのミラーサイトとして機能するからです。

財政的にセキュアで持続可能であるために - CLOCKSS は、独立した 501(c)(3) 非営利団体として、あらゆる規模の図書館や出版社が参加できるように、手数料を適切な価格に抑えるようにしています。運用コストが低いことから、このような仕組みを維持することが可能になっています。

CLOCKSS アーカイブ・ノード

オーストラリア国立大学 * オーストラリア
ベルリン大学 * ドイツ
インディアナ大学 * 米国
国立情報学研究所 * 日本
OCLC * 米国
ライス大学 * 米国
スタンフォード大学 * 米国
サクロ・クオーレ・カトリック大学 * イタリア
アルバータ大学 * カナダ
エジンバラ大学 * 英国
バージニア大学 * 米国

CLOCKSS に参加希望、あるいは Webinar によるイントロダクションをご希望の方は、+1(248)848-7079 または info@clockss.org までお問い合わせください。